

FiACE HOME ファースホームの家は、良いものを長く使うことを求めている方に選ばれています。

実際に建てた人に聞いてみました。

Q 家づくりで重要だと思うことは?

家は長い時間を過ごす場所であるだけに、建ててから後悔しないよう事前の準備が大切です。そこで家を建てた方に、新築時と5年以上住み続けた今、「家づくりで重要だと思うこと」を聞いてみました。すると、新築時には「高気密・高断熱性」が、住み続けた結果第1位に。フィアスホームでは、快適な室温ときれいな空気に包まれた上質で健康的な住み心地を、自信を持ってご提案します。

新築する時に重要だったこと	新築から5年以上経った今重要だと思うこと
1位 間取り	1位 高気密・高断熱性
2位 耐震性	2位 収納
3位 耐久性	3位 耐震性
4位 外観・内観・デザイン	4位 耐久性
5位 収納	5位 間取り

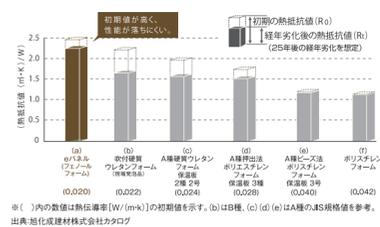
●調査方法:当社実施のwebアンケート方式(インターネット調査)  
●調査対象:20歳~60歳の住宅購入者  
●調査期間:2015年5月21日~23日  
●有効回答数:221

長く持続できる理由

経年劣化の極めて少ない eパネル(フェノールフォーム)

発泡プラスチック系断熱材は、断熱性能の経年劣化が想定されるため、(財)建築環境・省エネルギー機構「住宅の省エネルギー基準の解説(第3版)」において、断熱材の経年劣化を加味した熱抵抗補正係数が明記されています。

50mm厚断熱材の経年劣化後の熱抵抗値比較

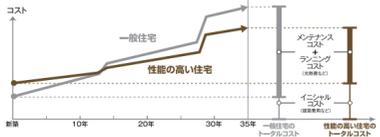


長く持続できる理由

住まいにかかる生涯のコストをトータルに考えていく

フィアスホームは、イニシャルコスト(建築費用・ローン金利など)、ランニングコスト(光熱費など)、メンテナンスコスト(建物の維持・管理費用など)、3つのトータルコストで住まいの一生にかかるコストを考えています。

性能の高い住宅を選ぶことでランニングコストとメンテナンスコストの削減を目指し、**トータルコスト**で家づくりを考えています。  
**毎月約14,600円**の光熱費削減効果



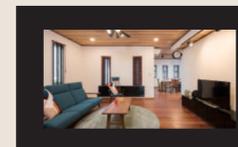
Owners Voice 実際のフィアスホームオーナーの声をお届け。

「すみずみまで暖かい。家族がひとつになれる家。」

ご自身が医師ということもあり、「冬は寒さで体調を崩す方が多いのですが、家中ほとんど温度差もない我が家は、本当に体に負担がない家だと感じます」とご主人。以前は一日中点けずいらなかった暖房用の灯油代が不要になり、5.5kWの太陽光発電システムを入居から10ヶ月稼働してみても、併用のガス代も含め「光熱費ゼロが目指せそう」とのこと。ランニングコストの観点でも、よい買い物をしたと実感しているそうです。



① 明るいオープンキッチン。アイランド型にしたことで、「片付け動線もラクです」。② 踊り場にカーペットを敷いた読書コーナー。T様邸にはサッと本が取れる書棚が随所に。③ 家族が声を掛け合える吹き抜け。お子様の勉強机は個室から飛び出して、中2階のワークスペースに。「お互いを近くに感じられる家にしたかったから」とT様ご夫婦。④ グランドピアノのコーナーは、家族が集まるLDKの一角に。⑤ 京の町家に倣った家が並ぶ周囲との調和を意図して、木調サイディングを採用。



フィアスホーム事例紹介  
こだわりを持った外観や内観、間取りなどの事例です。実際の写真とお客さまへのインタビューでご紹介します。



お客様インタビュー  
フィアスホームのお施主様にインタビュー。高気密高断熱の住み心地、住まいのこだわりなどが聞きました。



FIACE HOME MODEL HOUSE

モデルハウス見学会開催中!

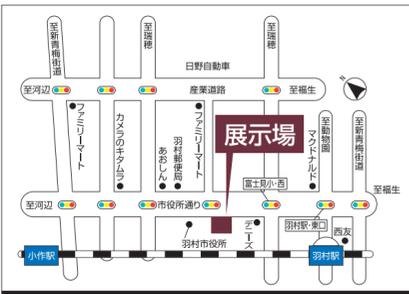
- 開催時間/10:00~18:00(水曜休み)
- 見学ご予約は「TEL042-578-8440」または下記WEBへ

WEBから来場予約でQUOカードプレゼント  
平日2,000円分 土日祝1,000円分  
※QUOカードのプレゼントは1名様(1家族様)1回限りとさせていただきます。ご予約はこちら

INFORMATION & ACCESS MAP

フィアスホーム 東京羽村店

TEL 042-578-8440 (フィアスホーム)  
TEL 0037-6000-4393 (リゾーム専用 通話無料)  
※携帯・スマホ可(光IP電話・IP電話はご利用になれません)  
〒205-0003 東京都羽村市緑ヶ丘5-17-24  
FC加盟店(株)神田ホーム  
https://kandahome.com/  
建設業:東京都知事許可(給-2)第800366号  
宅建業:東京都知事免許(9)第45457号



2021 MODEL HOUSE GRAND OPEN

FiACE HOME

- 多摩エリア初 多摩エリアにフィアスホームが初上陸!
- 世界基準の断熱性能 世界基準の断熱性能と優れた気密性能
- 高性能を支える技術 高気密・高断熱を実現するためのフィアスホームの技術力
- 自由度の高いDESIGN 住まいを一つの大空間と捉えた自由度の高いプランニング



機能性×意匠性の相乗効果が「特別な暮らし」を日常に変える。

FIACE HOME TOKYO HAMURA



Q ご存知ですか? 多摩エリアの夏と冬の寒暖差は過去最大で何℃でしょうか?  
特に冬の寒さは健康へ影響しやすいと言われています。寒暖差の正解は中面へ。

# FiACE HOME

さまざまな数字が物語る  
高気密・高断熱住宅  
フィアスホームの実力。

## 50.1℃

多摩エリアの寒暖差  
50.1℃を記録

多摩エリアでは、2018年に最高気温40.8℃、最低気温-9.3℃を記録。夏と冬の寒暖差はなんと50.1℃に!

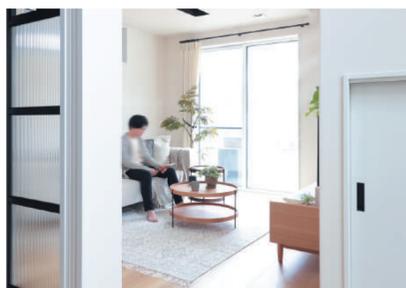
※東京都青梅市の気温データ:2018年7月23日に40.8℃、1月27日に-9.3℃を記録。出典:気象庁HPより。

住戸内の温度差と住まい手の健康には深い関係があります。

よく耳にするヒートショック。温度差による血圧の上昇によって循環器系の疾患が起こる可能性が高まると言われています。冬場、暖房の効いた部屋と冷えたままの廊下やバス、トイレとの温度差、深夜や早朝などには、布団の中の温度と室温との差を考えると、布団から抜け出るのがつらくなります。急激な温度差は人の体にとって大きな負担となり、心臓

発作や脳卒中を引き起こす「ヒートショック」の危険にさらされます。近年夏は地球温暖化やヒートアイランド現象によって気温が高く、期間も長くなってきています。熱中症の症状の発生は意外にも住宅内が高い割合を占めています。外気の影響を受けにくい住宅の高断熱化が健康リスクの軽減に期待できます。

だからフィアスホームは、温度差を抑制する高気密・高断熱の家づくり。

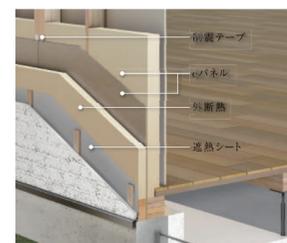


## 0.020

[熱伝導率]  
W/(m·K)

壁の内と外のダブル断熱で実現  
熱伝導率0.020W/(m·K)

UA値(外皮平均熱貫流率)とともに、数値が小さいほど断熱性能が高いことを表す指標に熱伝導率があります。UA値は単位面積あたりの指標であるのに対し、熱伝導率は物質の熱移動のしやすさを表します。世界最高レベルの断熱材を壁の内側と外側にダブルで採用したフィアスホームの家は、eパネル+外断熱のダブルの力で、熱伝導率0.020W/(m·K)の圧倒的な断熱性能を誇ります。



## 0.79

[熱透過率]  
W/(m²·K)

LIXILの最新技術の結晶  
トリプルガラス樹脂サッシを採用

熱を通しやすいフレームの露出を抑え、ガラス面積を拡大。トリプルガラスの中間ガラスに、わずか1.3mmという特殊薄型ガラスを採用。トリプルガラスでありながら、複層ガラス並みの軽さを実現しました。また、2つの中空層には熱伝導率が低いクリプトンガス/アルゴンガスを封入。それぞれのガスごとに最適な設計された厚さの中空層が優れた断熱性能を発揮します。



※縦すべり出し窓(TF)16513、トリプルガラス(クリプトン入り)内外、Low-Eグリーン(3-12.3-12.3)、アングル付きアングルなし(アングル付き同等納まり)、JIS A 4710-2004による社内試験値

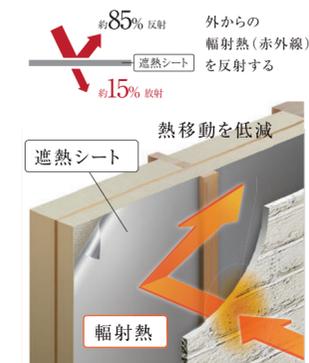
## 約85%

[反射率]

反射率の高い遮熱シートで  
冬暖かく、夏涼しい環境を実現

外断熱のさらに外側に遮熱シートを貼ることで、外からの輻射熱(赤外線)を約85%反射します。家1棟まるごと遮熱により、冬暖かく夏涼しい快適な環境を実現します。

※デュボン中央研究所における測定結果



世界基準を実現する技術  
FiACE HOME Technology for World Standard Spec

## DESIGN 高い性能とデザイン性でホテルライクな暮らし。 FiACE HOME MODEL HOUSE

World Standard Insulation Performance  
世界基準の断熱性能

## 0.27

[UA値]  
W/m²K

世界基準をクリアする断熱性能  
UA値0.27W/m²Kを実現。

フィアスホームオリジナルの高性能パネル「eパネル」。樹脂系の断熱材と構造用パネルを一体化させた「eパネル」で建物を包み込むことで「住まいの基本性能」を大きく高めます。ダブル断熱(eパネル+外断熱)とすることで、環境先進国であるドイツやノルウェーなどの国々の断熱基準を超える性能となります。



## 0.36

[C値]  
cm²/m²

気密性の指標となる相当隙間面積  
自社基準を上回るC値0.36cm²/m²

フィアスホームは、一般的な「気密住宅」のC値(相当隙間面積)5.0cm²/m²以下を遥かに上回る1.0cm²/m²以下を自社基準と定め、「eパネル」を使ったパネル工法住宅の全棟で気密測定を実施し、確かな品質と性能を確保しています。隙間からの冷気の流入を抑えるためわずかなエネルギー消費で家中の温度差を少なくし、家中の温度差が少なくなることにより、ヒートショックなどの身体への負荷、ストレスを減少させます。

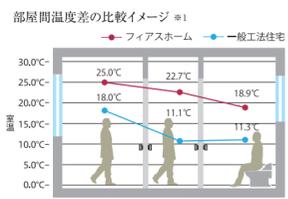
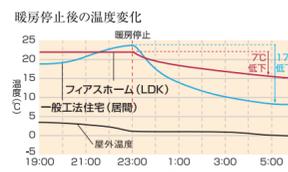
※2020年度平均値



## 6h→7℃

冬でも就寝前の快適な室温を朝まで  
6時間経ってもわずか7℃の低下

就寝前に暖房停止しても、フィアスホームの住宅は断熱性が高いので、暖まった空気が冷えていくなくなります。冬の朝など一般工法に比べて、暖かい目覚めを迎えることができます。



### 憧れの吹抜け大空間 どこにいても快適

高気密・高断熱のフィアスホームなら、憧れの吹抜けリビングやスキップフロア空間も自由自在。間仕切りのない大空間ながら、夏も冬も、朝も晩も、家族がどこにいても心地よい温度に包まれます。



大容量収納のリビングコンテナは、子どもの遊び場にも活用できます。



### プランニングの自由度

高気密・高断熱の一体空間は、プランニングの自由度を高めます。例えば中2階のようなスキップ空間をつくり家族の気配を感じながら仕事や勉強ができるデスクスペースを設けられます。



### 自然の恵みを活かし、 少ないエネルギーで快適なパッシブ設計住宅

太陽の位置が低い冬は、室内に日差しをたくさん取り込むように大きなサッシを配した設計、太陽の位置が高い夏には、厳しい日差しを「深い軒の出」でブロックし、さらに家の中の風の流れを計算したパッシブ設計です。



### 高気密・高断熱だからできる 大空間で開放的な暮らし。

高気密・高断熱住宅は、温度のむらが少ないので、家をひとつの空間として自由に設計できます。大きな吹き抜けや1階と2階の間にテレワークスペースを設けて、ほのぼのとした家族とのつながりを演出できます。



FiACE HOME MODEL HOUSE こちらのモデルハウスの実物を見られる見学会開催中! 詳しくは裏面をご覧ください。

※1 当社実測試験による。測定場所:千葉県千葉市。測定時期:2月。当データは実在住宅の測定値であり、住宅の仕様、生活スタイル、測定条件等によって異なる場合があります。